

元気な企業の源は

組合員であり、人である

協村委員（和歌山地方本部）



●安全について、まだ道半ば
とは言い、非常に高い数値レ
ベルの目標を達成してきたと
認識している。労働災害など
下げ止まり感があるものの、
自分たちが対処対応できる
事柄への成果は充分評価さ
れていくと考える。

一方、達成目標の数値に
目線が寄つてしまっているよ
うに感じる。こうなるとしま
うと、系統間での責任転嫁や
持ちちは未だ逆転している。

日々頑張つて業務を遂行し、
辛抱をしながら施策にも協
力してきた。しかし現場の組
合員は、その辛抱や協力の対
価があつたとの認識に至つて
いない。これは非常に大きな
問題である。

共済難民は出さない！

川原委員（大阪地方本部）

●グループ会社の死亡労災
が発生し、重大労災や一歩間
違えれば重大事故につながる
事象が多発傾向にある。
特に吹田貨物ターミナル内
の貨物列車と器具の接触事
象は、思い込みや確認会話の
怠りによるものである。
先般発生した雪害では、



確保するため、懸命に業務
に勤しんだ。
また、事故後人社の組合
員が半数を超え、改めて事
故の悲惨さ・反省を、教訓
として伝えていくことが重
要となつていく。

●近畿統括本部がスタート
して4ヶ月が経過した。今
後も厳しい経営環境が想定
される中、様々な業務改善施
策も予定され、3月にはうめ
きた地下駅の開業、奈良線の
複線化により、業務体制の見
直しが行なわれる。

●4月には、統一地方選挙
が実施される。JR西労組
の組織内議員である田尻匠
奈良県議の改選をはじめ、
19名の推薦議員の全員当選
に向け取り組む。

災害対策について真摯な議論を

尾崎委員（福知山地方本部）



●福知山線列車事故伯
の間、福知山線列車事故伯
備線車事故を教訓に、安
全確立に向けた取り組みを
行つてきた。ユニオンスタ
ルにおいては、中央本部作
成のDVDを活用し、安全を
考える講義を設けてきた。

●1月18日、山陽新幹線小
倉博多間、久山斜路にお
いて作業打合せ中に、トラッ
クを発生させてしまった。20
19年2月加太駅でも同様
の事象が発生しており、過
去の反省と教訓が生かされ
ているのか、改めて自分事化
することの重要性を再認識
した。

事故の自分事化の重要性を再認識

森本委員（新幹線協議会）

●今年度も、多くの施策に
ついて、山陽新幹線統括本部
と議論を行なつていく。現
場で働く組合員は、環境整備
をなされないままの施策実
施やシステムの取扱いに戸惑
い、モチベーションが下がり、
働きがいも低下している。解
明交渉の中でも、箇所長と
のコミュニケーションの充実を
強く各主管部に求めてき
た。

●5月には、G7広島サミッ
ト、7月には世界水泳が福
岡にて開催される。いずれも
山陽新幹線エリアでの開催
という点で、世界に改めて
日本の新幹線をアピールす
る絶好のチャンスだと考えて
いる。

羽野書記長 総括答弁

（はじめに）

雪害について、会社もどこに
問題があつたのかを議論して
いると思うが、我々も各方面
から多くの意見を頂いている
ので、誰が悪いというのではな
く組織の大きな課題と捉え
て、今後会社と議論をしてい
きたい。

●安全について、まだ道半ば
とは言い、非常に高い数値レ
ベルの目標を達成してきたと
認識している。労働災害など
下げ止まり感があるものの、
自分たちが対処対応できる
事柄への成果は充分評価さ
れていくと考える。

来する、いかに共存していける
か、そして鉄道を利用してい
ただけなのかということになる。
（安全）
今日の皆さんの発言を聞いて、
あらためて「安全を守るこ
とは難しい」と感じた。
「なぜ、安全を守らなけ
ればならないのか」というこ
とであるが、福知山線列車
事故を例にとると、運転士を
含めて107名の方
の人生を止めた。伯
備線車事故では3
名の仲間の人生を止
めている。朝霧、明石
間の触車事故では、
1名の人生を止め
同じ現場にいた仲間
のその後の人生を変
えるからである。

失ったものは取り返す

社長の言葉
をそのまま借
りると「失った
ものを取り返す
たい」と本当
に思っている。そういう思い
で春闘に臨みたい。そして、会社
に赤字の業績予想となるよう
に赤字の業績予想となるよう
な要求はできないかもしれない
が、今やらないと、本当に人
がなくなる、来なくなるとい
う「ターニングポイント」となる
春闘ではないか。会社にも、そ
ういう意味で覚悟をもつてこ
の春闘に臨んでもらいたいと

●1月に開催した「安全を誓
う」手抜き行動の話があつ
たが、安全を守るのが難
しいと感じた最大の理由は、
1人で行動している場合は1
人がルールを守れば安全は確
保されるが、チームで作業し
ている場合は、例えば10人中
9人がルールを守り、1人が
「これ以上、屈めない」とい
う一言があつた。我々は我慢の
限界にきていると思つている。
物価も上昇しており、本当に
生活も苦しくなつていく。

●1月に開催した「安全を誓
う」手抜き行動の話があつ
たが、安全を守るのが難
しいと感じた最大の理由は、
1人で行動している場合は1
人がルールを守れば安全は確
保されるが、チームで作業し
ている場合は、例えば10人中
9人がルールを守り、1人が
「これ以上、屈めない」とい
う一言があつた。我々は我慢の
限界にきていると思つている。
物価も上昇しており、本当に
生活も苦しくなつていく。

●5月には、G7広島サミッ
ト、7月には世界水泳が福
岡にて開催される。いずれも
山陽新幹線エリアでの開催
という点で、世界に改めて
日本の新幹線をアピールす
る絶好のチャンスだと考えて
いる。



●安全について、まだ道半ば
とは言い、非常に高い数値レ
ベルの目標を達成してきたと
認識している。労働災害など
下げ止まり感があるものの、
自分たちが対処対応できる
事柄への成果は充分評価さ
れていくと考える。

●安全について、まだ道半ば
とは言い、非常に高い数値レ
ベルの目標を達成してきたと
認識している。労働災害など
下げ止まり感があるものの、
自分たちが対処対応できる
事柄への成果は充分評価さ
れていくと考える。